

地域支援だよりは、本校の就学エリア（福山市、尾道市、府中市、三原市、竹原市、神石高原町、世羅町、大崎上島町の保育所（園）、幼稚園、小学校、中学校、高等学校）等に配布しています。

福山特別支援学校 地域支援だより

こやまが丘通信

令和5年 第6号（3月発行）



寒さが緩みはじめ、桜のつぼみがみられるようになりました。
 今年度、地域支援部では、Facebookなどの情報発信に積極的に取り組み、夏季セミナーも無事開催することができました。また、教育相談主任による巡回相談・研修協力では、地域の先生方や保護者とともに子供たちの指導支援について、一緒に考えさせていただきました。1年間、ありがとうございました。



～地域の先生方からの相談～

巡回相談では、地域の先生方から、体育や算数などの各教科や自立活動の指導、児童生徒に適した机や椅子、支援具、修学旅行や避難訓練等の工夫などについて相談を頂きました。また、介助員の方からは、子供への関わり方やトイレの介助方法などの相談がありました。
 地域の先生方から寄せられたアンケートをもとに、ニーズに応じた情報をFacebookやTwitterで発信しています。ぜひご覧ください。

例) 授業の様子 (音楽)



例) 保健安全部の取組



保健安全部で行った校内研修の動画をFacebookに掲載しました。この動画では、骨折のリスクを防ぐ、オムツ交換や衣服の着脱の仕方などを知ることができます。

～体育の工夫～ アダプテッド・スポーツという考え方～

巡回相談で、体育の授業に関する内容が多く寄せられましたので、授業の工夫について、紹介します。誰もがスポーツに主体的に参加したり、運動への興味・関心を高めたりするために、「**アダプテッド・スポーツ**」の視点を活かすと、活動が広がりやすくなります。

～保健体育の教科で目指すこと～
 生涯にわたって、心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成することです。

現行の学習指導要領では、肢体不自由のある子供に限らず、運動が苦手な子供などにも配慮する工夫などが示されています。

～書籍の紹介～

機関誌 「肢体不自由教育 258号 特集 教師の専門性向上」
 『社会福祉法人日本肢体不自由児協会（令和5年1月）』に、本校の山田あゆみ教諭の執筆した記事が掲載されました。

「学校間連携による教員の専門性の向上」



(記事の内容)
 肢体不自由教育に関わる教員の専門性の向上を目的に、毎年、広島県内の特別支援学校3校が合同で実施している「広島県肢体不自由特別支援学校自立活動研究会」の概要や運営について、まとめています。

本校の Twitter

広島県立福山特別支援学校・2023/01/31
 島根県の生徒と高等部の生徒が「年齢、環境、障害の有無等に関係なく、あらゆる人が楽しめる新しいスポーツを生み出そう」と考えた新しい競技！その名も「スローアライン」！ポッチャのようにボールを投げて、マスに入れてピンゴを目指すルールです。これがなかなか難しい！やってみたくまりましたか？

【アダプテッドとは？】目の前の「子供」に合わせて、「もの」「ひと」「ルール」などを変更・修正・加減をする。

アダプテッドの視点の例 (※参考資料で示されている内容です。)

① もの

体育で使う用具や授業環境が障害のある子供にとって使いやすいものにするなど

② ひと

指導者間の連携、友達との教え合いや支え合い、支援員や学習ボランティア等の配置など

③ ルール

分かりやすいルールの作成など

参考資料：特別支援教育リーフ Vol.2 障害のある子供も共に楽しむ体育の授業 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

本校の事例 ※4つの視点(もの、ひと、ルール、フィールド)をアダプテッド!

～高等部I類型(準ずる教育)の生徒の困り事～

- ・ 肢体不自由の状況は異なり、画一的なゲームが難しい
- ・ クラスの人数が少なく、「団体競技」の実施が難しい



このスポーツを考えた理由

どんな状況でも出来る

実施者からいって
誰かの助け

誰もが平等に載せて楽しめる
スポーツを考えた

どんなゲームも結構アツク

ボールは結構重い
球をどうスローしていいか

生徒が新しいスポーツを考え、プレゼンテーションしました

① もの

軽い・持ちやすい・投げやすい
「おじゃみ」を手作りしました。

② ひと

他県の生徒とオンラインで繋がり、新しいス
ポーツを考え、ゲームを行いました。

③ ルール

分かりやすく、誰もが楽しめるゲームを
他県の生徒と一緒に試行錯誤して、考え
ました。

スローアラインのルール

- ① 先攻後攻を決め、4m先の的をめがけて1つずつ交互にスローします。
(ボールは1人7個です。)
- ② 2セットの合計点数で勝敗を指します。
- ③ マス1つにつき1点、ピンゴで2点追加されます。
- ④ 例外でバウンドして入ったものは、得点にカウントしません。
- ⑤ 初回マスに入ったときは、後に入ったボールを優先します。
- ⑥ 全て投げ終わるか、ピンゴになった時点でGAMEは終了します。

オンラインで、対戦しました!

① もの

生徒に応じて、紐を引っ張
ると、「おじゃみ」を飛ばす
ことができる「射的台」も
活用しました。

④ フィールド

飛距離を考えて、フ
ィールドを狭くする
などの工夫をしまし
た。

今後の予定

【年度末・年度初めの相談も受付中】

4月、スムーズに始業できるよう、引継ぎや、新しいクラス的环境構成の工夫などの相談に応じています。本校にある姿勢支援具・支援機器の貸出も可能です。

お気軽にお問合せください。



3月	14日(火)	令和5年度広島県立福山特別支援学校高等部入学者選抜二次募集出願登録開始、調査書等提出～3月16日(木)正午まで
	17日(金)	令和5年度広島県立福山特別支援学校高等部入学者選抜二次募集選抜結果の発表 ※3月20日(月)午前10時
	24日(金)	令和5年度入学者説明会(小・中学部、高等部)
4月	7日(金)	令和5年度入学式

広島県立福山特別支援学校

所在地 福山市津之郷町津之郷 280-3

TEL 084-951-1513 FAX 084-951-3864 (受付: 平日 9:00~17:00)

mail fukuyama-sh@hiroshima-c.ed.jp

本校HP
QRコード



《相談窓口》 教育相談主任(特別支援教育コーディネーター): 西谷 愛子